

パン製造の八天堂（三原市）の持ち株会社、八天堂ホールディングス（同）が、就農で障害者たちの雇用拡大などを図る「農福連携」を進める新会社「八天堂ファーム」を同市に設立した。自社製品の販売に加え、農福連携を後押しする日本農林規格「ノウフクJAS」の認証品を販売するサイトも開く。

八天堂が竹原市で地元の社会福祉法人に委託し、就労訓練の場に行っているブドウ園（計約0・8ha）の運営を引き継ぐ。収穫したブドウはそのまま販売するだけでなく、八天堂を通して菓子などギフト

農福連携 新会社で後押し

八天堂、ブドウ園運営 サイトも

ト用の加工品にもし付加価値を高める。林義之社長を含め社員は2人。

販売サイトは来年3月に開設を予定。ノウフクJASに認証された全国の産品を専門に取りそろえ、販路の拡大をサポートする。農産品の加工製品化も支援するため、八天堂などを委託先として仲介するビジネスモデルの構築も目指す。

林社長は「障害者の就労などを事業として後押しする。三原市でも農場を開きたい」と話す。

（川崎崇史）